

生涯通じ障害者支援

日本青年会議所（JC）と文部科学省、連携プロジェクト

文部科学省と日本青年会議所（Junior Chamber；JC）は7日、障害者が生涯にわたり学習やスポーツ、文化活動に親しめるような支援活動を展開する「みんなのNIPPON 共生社会プロジェクト」を始めると発表した。松野博一文科相とJCの青木照護会頭が会見し、タイアップ宣言に署名。チャリティーランのようなイベント開催を通じて、障害者と健常者の交流や相互理解を深める。

プロジェクトは、全国696の青年会議所や会員企業が中心となり、各地域でイベントや支援事業を展開してもらう。例えば、国民の祝日に障害者と健常者が一緒に参加するチャリティーランや、支援の在

り方を探るシンポジウムの開催などを想定。最終的には、行政や障害者支援施設、経済団体などが参加する協議会を設立し、地域の障害者支援の窓口となることを目指す。

松野文科相は会見で、「これまで文科省の取り組みは都道府県、市町村、学校という行政ルートが中心だったが、今後は各地域で企業などの協力を得て進められる」と学校外での支援拡大を期待。青木会頭も「2020年東京パラリンピックは、障害者と健常者の間にある心の障壁を取り除く絶好の契機。真の共生社会の実現を目指したい」と述べた。

（福祉新聞・第2819号 2017年7月17日）